

19町内会・自治会の横顔紹介(各会長による寄稿)

清田第二町内会

会長

山下紀雄

(平成12年～)



世帯数：319戸(令和2年1月現在)

設立年月日：昭和58年4月

設立時世帯数：241戸

歴代会長：五十嵐渉(昭和58年～)

桐生重春(昭和61年～)

滝永一夫(平成11年8月～)



新年交礼会賽引大会

町内会各種行事を振り返り

清田中央地区町内会連合会が創立30周年を迎えますこと、また「30年のあゆみ」の刊行を心よりお祝い申し上げます。

編集に当たられた皆様のご尽力にも深く敬意を表します。

清田第二町内会の過去を振り返れば子供七夕まつり、提灯行列、花火大会、園遊会、盆踊り、新春ボーリング大会、温泉旅行等数多くの行事を実施いたしてきました。七夕まつり、提灯行列、花火大会、盆踊り等の行事には町内会の半数以上の会員が中央公園に集まり、会員同士のコミュニケーションを図ることができました。

その後、子供数の減少・高齢者増で行事が一つずつ減少してまいり、行事参加者の減少にともない各種行事の継続が不可能になり、現在は、行楽旅行、新年交礼会、福祉厚生部のふれあい交流会、体育部の新春ボウリング大会、女性部の研修旅行等の実施となりました。

会員相互がお互いにコミュニケーションを図ることが大事と考えて、四役会議で常に町内会各種行事の企画を見直し、新年交礼会では寶引きを取り入れ、ふれあい交流会では映画鑑賞を行う等工夫を凝らしておりますが、若い世代・高齢家族等のコミュニケーションを図ることがなかなかできません。

各種行事等の参加者は年々減少し現在は30～40名前後の参加者(何時も同じ顔触れ)となっておりますが、今後、各種行事の参加者増に向けて企画の見直し・向上を目指してまいります。



清田第三町内会

会長

坂東勝弘

(令和2年～)



世帯数：485戸(令和2年1月現在)

設立年月日：昭和58年4月

設立時世帯数：413戸

歴代会長

岡田文教(昭和58年～) 飯間 昇(平成 4年～)

遊佐国男(昭和59年～) 松原隆一(平成 7年～)

水谷寛一(平成 2年～) 横山武士(平成20年～)



星空子どもバスツアー ～札幌芸術の森 33名参加～

豊かな自然に恵まれた地域に住む幸せ

清田中央地区町連創立30周年、心よりお祝い申し上げます。この10年、町連と共に歩んできました第三町内会の変貌を振り返って見ますと、大きな喜ばしい変化が出てきています。

10年前の平成22年の世帯数は498戸、令和2年の今年では492戸でほぼ同数ですが、この10年間の町内への転入世帯数は57戸で、現在空き家及び工事中は15戸となっており、世代交代が進んできたことが感じられます。

更に、地域の自然環境に目を向けると、この1・2年で大きな変化が生じてきています。

第1として大学の敷地内を通過して出来た清田通りの完成により、第三町内会の真ん中を走る道路の交通量が減少となり通学路の安全が確実に向上した事です。

第2として町内会の境界を流れるトンネ川の遊歩道の改修がなされ、桜を中心とした樹木120本あまりが植えられ、川の兩岸の桜並木が完成して憩いの場となった事です。

このように豊かな環境にめぐまれた地域の町内会として、これまで以上に町内のコミュニケーションを図り恵まれた環境に相応しい町内会として活動に取り組んでまいります。

清田第四町内会

会長

市村勝太郎

(平成29年～)



世帯数：272戸(令和2年1月現在)

設立年月日：昭和58年4月

設立時世帯数：118戸

歴代会長

土肥栄四郎(昭和58年～) 玉野源四郎(平成 6年～)

菊地 力(昭和59年～) 黒沢勝昭(平成12年～)

岡田一馬(昭和61年～) 山地宏重(平成20年～)

北垣尊男(昭和63年～)



清田中央地区町内会連合会30周年記念に寄せて

清田第四町内会は昭和58年の設立以来38年の歳月が流れました。住人のほとんどは、他地域からの移入者。知らない者同士が一つの新しいコミュニティを形成し、現在は270戸余りの個人住宅街となっております。

初期のころは住民層も30代から40代が中心で活発に町内会行事が行われました。時は流れ、いつしか世帯主の平均も60代から70代が中心となり、世の中もめまぐるしく変遷を遂げ、日本各地の大きな災害、大地震や台風の被害は日本全国、いつでも、どこでも起きておかしくないという時代だと痛感させられます。今年初頭からの新型コロナウイルス禍という災難に遭遇し、あらゆる行事が中止になり、東京五輪さえ延期になり、世界では今も感染の恐怖と戦っている有様です。町内会における行事もほとんど中止せざるを得ないという状況下で、いま町内会の在り方も再考せざるを得ません。

歴代の役員、町内会員の皆様が町内会を盛り上げるため、不断の努力を重ね、今の「だれでもが安心して暮らせる生活環境、会員が相互に支えあう」体制を確立してきました。今後も役員・会員一同、一層の努力をしていきたいと思っております。最後に町内会連合会創立30周年、心よりお祝い申し上げます。清田中央地区町内会連合会の一員として、今後とも、連携を深め地区の発展、融和に寄与できればと考えております。

清田第五町内会

会長

森 謙一

(平成30年～)



世帯数：565戸(令和2年1月現在)

設立年月日：平成元年10月

設立時世帯数：45戸

歴代会長

土肥正豊(平成2年～) 浅田 隆(平成14年～)

土肥 勇(平成6年～) 刑部紀元(平成19年～)

西部慎三(平成12年～)



素晴らしい環境に恵まれた地域

清田中央地区町内会連合会が創立30周年を迎える年、清田第五町内会も創立30周年を迎えます。平成元年10月に45戸の世帯数で設立された当町内会も今では565世帯に達する推定人口2,000人以上の大所帯となっております。改めまして、幾多の困難を克服し、町内会の基礎を築いて下さった諸先輩に深く敬意を表するものであります。この間、会員の皆様のご協力のもと、「安心・安全で住み良い町づくり」に努めてまいり、それなりの成果を上げることができましたこと、皆様に感謝申し上げます。

昨年12月には長年の念願でありました「清田通り」が開通しました。このことにより清田西方面への交通利便性、そして冬期間の地区全体の渋滞緩和が期待されます。町内会としても最大の注意を払って交通安全に努める所存であります。

また、2018年9月に発生した胆振東部地震においては実際の災害時の対応について様々な課題が浮かび上がってきたところでもあります。特に、生活に密接に関係するインフラ等の情報伝達体制の有り方、高齢者及び要配慮者への対応等、町内会が果たすべき役割がより明確に示されるところとなりました。「安心・安全」を掲げる町内会として、その目的に沿うべく会員の皆様とのコミュニケーションを深めながら、また、町内会連合会との更なる連携強化を図り清田中央地区の発展に一層の協力をしていきたいと決意しております。

今後更に40年、50年と限りなく町内会連合会が発展されますようご祈念申し上げます。

清田ファミリータウン町内会

会長

田利 守

(平成24年～)



世帯数：384戸(令和2年1月現在)

設立年月日：昭和63年3月

設立時世帯数：69戸

歴代会長：岩瀬義一(昭和63年～)

青木一夫(平成9年～)



町内会連合会創立30周年に寄せて

町内会連合会創立30周年おめでとうございます。清田ファミリータウン町内会は、町連発足当時から、他の町内会と共に歩み、今日に至ったことの喜びを分かち合いたいと思います。

全世界帯が町内会に加入し、町内会活動も活発です。夏まつりを頂点に、女性部の日帰り旅行、パークゴルフとジギスカンパティー（諸般の事情により昨年からは中止）、七夕まつり、ラジオ体操、クリスマス&餅つき大会、年2回の麻雀大会…。

今年から「敬老の日の行事」を設けました。冬の排雪事業は、皆さんが協力的です。

昭和63年に発足した当町内会も、世代の交代が進んでいます。当時、小中学生だった子どもたちは、今では立派な社会人として活躍し、当町内会に戻るケースも目につきます。

その子らが、また小・中学校に通う姿は、まさに次代を担う町内会の宝物です。

地縁組織に過ぎない町内会ではあっても、日常の平穏な毎日を過ごすには、なくてはならない組織であると考えます。今後も会員相互の親睦を図ると共に、互いに理解し合い、しっかりと連携のとれる環境作りに務めたいと思います。

清田自治会

会長

谷崎和幸

(平成24年～)



世帯数：114戸(令和2年1月現在)

設立年月日：昭和58年4月

設立時世帯数：80戸

歴代会長

大川 忍(昭和58年～) 田村順平(平成11年～)

加藤仁三(昭和60年～) 山中勝之(平成12年～)

山田 修(平成2年～) 坂本一郎(平成14年～)



挨拶がつくる自治会の輪

自治会は「あいさつがつくる自治会の輪」を標語として、歴代の会長が進めてきた方針を引き継いで取り組んでいます。

設立当時より、毎月第2日曜日は団地内清掃があり、多くの会員の方々とお話をしながらコミュニケーションを行って団地内の住み良い環境に努めております。

町内活動は、毎月の清掃、年2回の団地内草刈り、夏には焼肉パーティー、敬老の集い、新年会には同じ団地に住む仲間として、清田南若葉会にも参加いただき交流を行っております。

今後は、少子高齢化社会に向けた団地内の取り組みが必要と思われまます。

自治会の諸問題は、各町内会も同様であり、清田中央地区町内会連合会との連携を強化して町連の発展に一層の協力をしていきたいと考えております。

清田南若葉会

会長

斉藤正敏

(平成24年～)



世帯数：49戸(令和2年1月現在)

設立年月日：昭和59年4月

設立時世帯数：50戸

歴代会長

岩野 武(昭和59年～) 斉藤正敏(平成9年～)

佐々木繁雄(昭和61年～) 森田秀弘(平成14年～)

松本順一(平成2年～) 佐々木正文(平成15年～)

森田秀弘(平成7年～) 森下藤雄(平成16年～)



太美温泉前にて

安心して暮らせる町内会づくり

清田南若葉会は現在49世帯で、会員皆様のご理解、ご協力をいただきながら町内会活動をさせていただいております。

一層の高齢化が進む中、当町内会では「ふれあいいいきサロン」に申請し、令和元年8月、「若葉サロン」の名称で副会長の小島さん宅を会場に提供していただきながら毎月第1水曜日に開催しております。

- ①仲間をつくる事で元気になる
- ②健康や福祉の情報交換等、学びの場となる
- ③助け合い・支え合いの機運が生まれる

この3つの目標をかかげながら会員の皆様が、気軽に集まれる様、町内会としても全面的に支援をしながらお互いに助け合い・支え合いながら安心して暮らせる町内会づくりに今後とも取り組んで参ります。

清田南中央町内会

会長

今 紀治

(令和元年～)



世帯数：388戸(令和2年1月現在)

設立年月日：昭和58年4月

設立時世帯数：319戸

歴代会長：杉本勝昭(昭和58年～)

鹿森 品(平成12年～)

奥山育男(平成21年～)



竹の子子ども会クリスマス会

清田南中央町内会の現況について

当地区は、昭和44～45年に宅地造成され、その後会員の増加が進み、昭和58年4月、清田団地町内会から発展的に分離独立し、清田南中央町内会が設立されました。高度経済成長期の波に乗って、サラリーマンでも、夢のマイホームが持てる様になり、急激に発展し、そして半世紀、いまでは高齢化率約35%、清田区で1番の高齢化町内会と言われる、その対応に苦慮している所ですが、楽観的な見方をすれば、清田区で1番の長寿町内会でもあります。

今後の高齢者対策として、70歳以上の名簿作成、及び、災害時要援護者名簿作成に向けて、全世帯の調査を進めています。今後、この情報を活用して、いろいろな事業の展開に役立てたいと考えています。

ただ、近年は、ゆるやかではあるが、世代交代も進み、この一年間で子育て世代の転入が10数軒あり、通学や公園での子ども達の姿が多く見受けられるようになりました。更に、現在建て替え工事の家も数軒見受けられ、若い世代の入居が期待されます。町内会の子ども会「竹の子子ども会」の会員数も、年々増え続け、今は約60名の子ども達が入会しています。

ここに来て、清田南中央町内会の将来に、一筋の光明が差し込んで来たとの思いです。

清田緑町内会

会長

五十嵐徹

(平成29年～)



世帯数：391戸(令和2年1月現在)

設立年月日：昭和58年4月

設立時世帯数：353戸

歴代会長

東 国豊(昭和58年～) 菅野常明(平成5年～)

守屋保夫(昭和60年～) 加藤 清(平成18年～)

斉藤静子(平成2年～)



新年交礼会

明るい笑顔で挨拶!

昭和58年4月から単独の町内会として発足した当時は「清田南一町内会(353世帯)」でしたが、翌年3月に開校した清田緑小学校の名にちなんで、現在の「清田緑町内会」に改名され、のちに認可地縁団体の指定も受けました。

昨今は高齢化が進んで、役員のみ手が少ないのも悩みのタネですが、出来ることからやろうと、それまでの専門部の8部体制を平成30年度から4部体制にスリム化して各々が協力してお花見会、町内一斉清掃、夏祭り・盆踊りの夕べ等を実施。さらに南寿会、福祉推進委員会、パークゴルフ同好会、みどり子ども会の4帰属関係組織が町内会と連携、親睦・見守り活動等を実施。町内会館も、カラオケ・手芸教室&茶話会で有効活用しています。

また、平成30年9月の胆振東部沖地震の被害を受け、翌令和元年度には「自主防災計画」を制定。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため定期総会は「3密」に配慮して「書面表決」に変更、役員も数ヶ月遅延して決定しました。

このような困難な状況の中でも「明るい笑顔で挨拶!」をスローガンに、会員の笑顔に励まされながら地道に活動を続けています。

清田南町町内会

会長

大山末光

(平成29年～)



世帯数：245戸(令和2年1月現在)

設立年月日：昭和57年4月

設立時世帯数：198戸

歴代会長

山越幸民(昭和57年～) 山越幸民(平成7年～)

吉村信治(平成3年～) 天野忠任(平成17年～)



安心・安全で住みよい街に

清田中央地区町内会連合会創立30周年、心よりお祝い申し上げます。当町内会は、昭和46年清田団地町内会「南3区」として入会、昭和57年「清田南町町内会」として世帯数198戸で発足しました。「南3区」から数えますと来年度には半世紀、50年と言う節目の年を迎えます。

この間中央町連の指導のもと「安心、安全で住みよい街」を目指して活動して来ましたが、急速に進む高齢化率の上昇に伴い、認知症の問題、単身高齢者世帯の増加、消費者被害等々様々な課題が今後危惧されます。

町内会といたしましても高齢化時代に対応すべく高齢者台帳の整備、見守りサポーター制度の確立等曲がりながら整備してきたところですが益々進むであろう高齢化に対する対応、対策が最重点課題と考えております。

また、会員の世代交代も始まり年に数件若い世代が加入してきております。このように町内会の年齢構成も以前とは大きく変わってきていることから、従来の各種事業の見直しを図りながら「安心・安全で住みよい街」づくりに取り組んでいきたいと考えておりますのでご指導の程よろしく申し上げますと共に、今後益々のご発展をご祈念申し上げます。

清田中央町内会

会長

祐川明輝

(令和2年～)



世帯数：156戸(令和2年1月現在)

設立年月日：昭和59年4月

設立時世帯数：182戸

歴代会長：雨宮 稔(昭和59年～)

竹内博美(平成24年～)

高橋信隆(平成26年～)

創立30周年に寄せて

清田中央町内会は、明るく住み良い環境のもと、会員相互が連帯し親睦を深め協力し合い安全安心に暮らせる町内会を目指して活動しております。

もしもの時に備えて、町内会活動(町内会費の集金・回覧板の回付・ごみステーションの管理当番・町内会の諸行事)に参加中の事故を保障する自治会活動賠償責任保険に加入しております。

又当町内会では、高齢化が進み役員になる人が少なく現在は一人の役員が兼務で活動しているのが実状ですが、今後、町内会としては、老人世帯、独居老人世帯が多くなって来ますので、各役員力を合わせて福祉厚生に力を入れて行きたいと思っております。



清田団地北町町内会

会長

鈴木 亨

(平成12年～)



世帯数：280戸(令和2年1月現在)

設立年月日：昭和58年4月

設立時世帯数：161戸

歴代会長

富井敏夫(昭和58年～) 小鷹菊枝(平成 3年～)

佐藤秀士(昭和59年～) 春木政明(平成 6年～)

熊谷寿久(昭和60年～) 富井敏夫(平成 8年～)

春木政明(昭和61年～) 松村 明(平成10年～)



町内会連合会設立30周年おめでとうございます

町内会連合会の一員として、清田団地北町町内会は昭和58年4月12日に設立され、以来「安全・安心して暮らせる町づくり」を基本として、会員相互が日常的にコミュニケーションの出来る町内会を目指して取り組んでおります。町内会では、明るく、楽しめる、新年交礼会・夏まつり・子どもクリスマス会・茶話会等により、会員の親睦を深めることを中心に努めてまいります。

平成24年度に、自主防災組織の見直しに取り組み、高齢化社会にあっても高齢者・障がい者・子ども等を救助できる新たな自主防災組織「清田団地北町町内会救護対策及び救助活動組織」を立ち上げました。

その取組の中で、災害時における救助体制を明らかにした「災害時救助活動組織」を各世帯に配布するとともに、「ささえ愛プラン」として支援者と要支援者の「組み合わせ台帳」を関係者に配布しております。

引き続きこれらを活用し、災害時に一人でも多くの人々を守って行くための活動に取り組んでまいります。

当町内会においても高齢化が進んでおり、今後も会員相互の連携を一層深め、「私たち自身の町」をモットーに助け合う町づくりを目指すとともに、町内会連合会との連携を強め、清田中央地区の発展に一層寄与するよう取り組んでいきたいと思っております。

清田東町町内会

会長

黒田隆樹

(平成26年～)



世帯数：275戸(令和2年1月現在)

設立年月日：昭和58年4月

設立時世帯数：307戸

歴代会長：川崎末吉(昭和58年～)

中内春松(昭和62年～)

臼井敏勝(平成11年～)



夏の盆踊り大会

30年のあゆみそしてこれから

東町町内会の設立は昭和58年ですから創立38年目になります。当初はまだ清田団地の名前が残っており、町内会対抗の運動会、球技大会も活発に行われていました。

東町には「マミーズ(婦人ソフト)」、「東町ブルーファイターズ(少年野球)」、「東町ファイターズ(少女ソフト)」のチームがあり、ユニフォームも揃えて元気一杯の時代でした。そして、知り合った当時の30代・40代の若い親達の仕事の傍ら和気あいあいと色々な行事に参加してくれました。

今、東町は、子供達は少なく、65歳以上の高齢化率も34%で高齢化の波が押し寄せてきています。

時代が変わってきている中であって、「新年交礼会」、「盆踊り仮装大会」、「パークとジギスカン懇親会」、「敬老を祝う会」の親睦行事をにぎやかに開催しており、多くの会員が手伝ってくれ、いつも感謝しております。

なんとか昔の親達とのつながりを中心として町内会活動が続けられていると言えます。世の中が高齢化時代に突入しており、退職年齢が65歳で、70歳まで勤める時代が来ています。役員のなり手がいないなど、時代が変わってきている中で、町内会に何が求められているのか、そのために必要な組織はどこまであればいいのか、次の10年は真剣に考えていく時代に入ると思います。

東町には「東友会」という素晴らしい老人クラブがあります。これまでも東友会の活動を町内会活動と位置付け、いわば車の両輪として、支援もし、協力もいただき進めてきています。この関係は今後ともより強くしていかなければと思っています。

清田高台町内会

会長

山下政克

(令和2年～)



世帯数：319戸(令和2年1月現在)

設立年月日：昭和58年4月

設立時世帯数：267戸

歴代会長

稲川剛史(昭和58年～) 杉田伸正(平成20年～)

咲間光雄(平成2年～) 三上 明(平成26年～)

加賀谷正光(平成3年～)



安全で住みよい街づくり

清田中央地区町内会連合会創立30周年を心よりお祝い申し上げます。自然環境に優れた清田の地にて、また町連の一町内会として各事業に参加できましたことを光栄に感じている次第です。

当町内では「安全で住みよい街づくり」を念頭に活動をおこなっております。会員同士の親睦を図るために、「観桜会」「夏まつり」を開催し幼時からご年配者まで、多くの方々にご参加をいただいております。「敬老会」は参加者だけに恩恵のある式典から全員に粗品を配布し不公平感を無くするようにしております。また「子ども会」や「高寿会(老人会)」の活動も活発におこなわれております。公園の管理も「子ども会」、「高寿会」が中心になり草刈りや清掃をおこなっております。ゴミステーションの管理も同様に進めております。また町内会会員を「犯罪・事故・災害」から守るために諸活動に力を注ぎ「安全で住みよい街づくり」を進めております。おかげさまで若い方々の転入も増加傾向にあります。

今後とも役員、班長、会員が一丸となって「安全で住みよい街づくり」を目標に進めていきたいと思います。今年は新型コロナウイルスの影響で諸活動が中止となっておりますが少しでも早く元の生活に戻れるよう願っております。

清田団地元町町内会

会長

高杉昌利

(平成30年～)



世帯数：710戸(令和2年1月現在)

設立年月日：昭和58年4月

設立時世帯数：233戸

歴代会長

北澤 治(昭和58年～) 山田幸四郎(平成8年～)

細海誠男(平成2年～) 柏崎武敏(平成22年～)

溝口國高(平成3年～)



新年交礼会

創立30周年に思うこと

当町内会は昭和58年に清田団地元町町内会として設立し、37年が経過しましたが、区域は6条1丁目、7条1・2丁目、8条1丁目と9条1丁目にわたる広い地域です。この豊かな自然に恵まれた環境のもと、住み良い安全な町づくりを目指してきましたが、平成30年の胆振東部地震により被害を受けた家屋が相当数あり、元町町内会館も大きな被害を受けました。

人的被害が無かったのが救いでしたが、まだその傷跡は残っています。町内会館については市からの助成も受け昨年の8月には改修工事が終わり、9月から町内会の各種行事の活動拠点として利用されています。

今年の新年会には新装となった町内会館に120人もの会員の方が集まり、餅つきやゲームを楽しんで頂きました。残念ながら、その後は新型コロナウイルスの感染予防の為、行事をことごとく中止をしなければならない状況にあります。

また今後の課題として町内会役員の若返りを促進することですが、同時に高齢者が健康で明るい生活を維持する上で、ゆうあいクラブの更なる幅広い活動も重要と考えています。

清田西町町内会

会長

高島征年

(平成29年～)



世帯数：360戸(令和2年1月現在)

設立年月日：昭和53年4月

設立時世帯数：247戸

歴代会長

梅田博征(昭和53年～) 金子正一(平成元年～)
 大江俊弼(昭和54年～) 今井義治(平成17年～)
 藤井三説(昭和56年～) 金田光司(平成21年～)
 佐久間正一(昭和60年～) 石巻整三(平成25年～)
 野口一治(昭和62年～)



清田中央地区町連30周年に寄せて

清田中央地区町内会連合会が創立30周年を迎えられますことを心からお祝い申し上げます。と共に、町内会連合会の一員として歩んできた清田西町町内会の“あゆみと現況”についてご紹介いたします。

清田西町町内会の区域(清田8条2丁目)は昭和57年の住居表示制度変更まで豊平区清田〇〇〇番地〇〇と呼ばれ、昭和39年に5戸の世帯が移住されたのが始まりでした。その後、昭和53年7月に「清田団地西町4丁目町内会」が創立され、昭和57年に町名も変更となり現在の「清田西町町内会」となりました。昭和53年創立時の世帯数は247戸に加え、昨今は若い夫婦世代の転入が見られ、現在は360戸の町内会に成長しました。

創立以来、火山灰が舞い上がる粗悪団地と言われましたが、諸先輩方々のご尽力により徐々に解消された清田西町町内会は、やや四角の地形の中、碁盤の道路で区画され、南側は美しい架橋の清雲橋と緑の茂みが混在する林の中を流れる小川、東側は幼児から高齢者まで多目的(遊歩道・遊具・野球場・テニスコート・ゲートボールなど)に楽しめる南公園、また頂上からは夕映えの中の藻岩山や手稲山、遠くに観える山脈の風景など飽きることない環境の西町町内会です。

清田メイユール 喜寿自治会

会長

大藤留美子

(平成22年～)



世帯数：73戸(令和2年1月現在)

設立年月日：平成10年4月

設立時世帯数：48戸

歴代会長：大藤喜一(平成10年～)
 大藤一典(平成14年～)



清田中央地区町連創立30周年を迎えられ 心よりお祝い申し上げます

当自治会は、平成10年に清田緑町内会より分離独立し当時は48世帯から発足しましたが、現在では74世帯の会員で成り立っております。

設立以来「会員の努力による活動の活性化に努める」ことを基本方針として、親睦を深めるために花植え、夏祭り、子ども会行事としましては、ラジオ体操、ボーリング大会等の行事で親睦、活動を図っております。

20周年からの10年間では、平成30年9月に起きました北海道胆振東部地震において、この清田中央でも被害を受け防災対策の重要性を感じました。

今年令和2年、世界に猛威を震わす新型コロナウイルスでは未だに収束の目処が立たず今年は数々の行事が延期、中止となり自粛の年になりました。

一日も早く元の生活に戻れるよう願うばかりです。

今後も会員相互の連携に努め町内会連合会との連携を図り、清田中央地区の発展に協力していきたいと考えております。

しんえい西自治会

会長

花松 繁

(平成30年～)



世帯数：268戸(令和2年1月現在)

設立年月日：平成5年7月

設立時世帯数：112戸

歴代会長：古部貞春(平成5年～)

関口栄吉(平成17年～)

坪坂 昇(平成22年～)



自治会独自考案・ふた付き折りたたみ自立型ゴミサクル

「この町内に住んでよかった。」と思える自治会を目指して

清田中央地区町連創立30周年を、心よりお祝い申し上げます。当自治会は、平成2年の清田中央地区町連発足から遅れること10年、児童の校区の関係から「しんえい西自治会」として仲間入りをさせていただきました。

この間、地区町連の会長はじめ役員ひいては各単町の皆様に大変お世話になり現在に至っております。

当しんえい西自治会の、歴代会長の方針は一貫して「安心・安全、明るく潤いのある街づくり」を提唱し、また全会員もその方針に賛同し一体となって努力しております。特に日々の生活に密着したゴミ処理には意を払い、平成24年9月に従来のサークル型から「ふた付き折りたたみ自立型」を独自考案、以来毎年計画的に作成し平成30年度に自治会内のゴミステーション10基の更新を完了しました。

この功績により平成28年に「クリーンさっぽろ衛生活動関係」の会長表彰を、続いて平成29年に「環境衛生実践模範地区」として札幌市長表彰を受賞しました。

このような取り組みと相俟って自治会独自の焼肉親睦行事、育成部行事、高齢者お祝い贈呈に加えて老人会「はるにれ会」は町内美化活動、交通安全活動、花壇の花植・除草等々を推進しており、「この町内に住んで良かった」とみんなが思える自治会を目指しています。

ヒルズガーデン 清田町内会

会長

中岡 智

(令和2年～)



世帯数：601戸(令和2年1月現在)

設立年月日：平成20年4月

設立時世帯数：500戸

歴代会長

井上英幸(平成20年～) 小泉和透(平成28年～)

佐々木誠治(平成24年～) 久保田大介(平成30年～)

松井希光洋(平成26年～)



創立30周年に寄せて

清田中央地区町内会連合会創立30周年、心よりお祝い申し上げます。

ヒルズガーデン清田町内会は、清田南町内会様のお世話もあり、平成20年に独立させて頂き現在に至っております。この10年の間に、更に100戸増え、現在は601戸となり連合会会員様のアドバイスを賜りながら、年を重ねるごとに、町内会独自の行事も定着して参りました。特にヒルズガーデン町内の中央にある“つどい公園”で行う夏祭りは、町内会会員の憩いの場となっておりますが、今年は、未だ収束が見えないコロナウイルスにより、町内会主催の夏祭り含め、全ての行事は中止となり、私をもとより多くの会員の皆様も残念に感じていると思います。しかしながら、この様な時だからこそ、町内会会員が一致団結をし、各家庭での感染予防対策に留意して頂き、コロナ収束に目途がついた時には、会員の皆様に喜んで頂ける行事を検討していきたいと考えております。

今後、様々な難しい判断をさせて頂く際に、清田中央地区町内会連合会の会員の皆様の良いアイデアを頂戴し、ヒルズガーデン清田町内会の発展、連合地域の発展に活かして参りたいと思います。

新しく生まれ変わった「清武館」

「清武館の誕生」

清武館は清田団地町内会時代の昭和49年5月に、スポーツを愛好する青年有志が集まって体育クラブを結成し、卓球、柔道の自前の練習施設建設を目指した。

市当局の英断により、当時の西1区3班のちびっ子広場（現在地）に建設が決まった。また建物についても旧中の島会館の払い下げを受けて解体・運搬し、同年10月には建築確認を得て団地内の建築業に関係する有志の奉仕・突貫作業により、団地のスポーツハウスにふさわしい新しい姿で完成。

11月1日、約200人の参加の下、完成祝賀会が挙行された。柔道、卓球に加えて剣道、子供バレー（踊り）、詩吟の練習の他、各種集会など幅広く永く利用されてきている。（清田団地町内会10周年記念誌から）



清武館上棟

「清武館の地震被害からの復活」

平成30年9月6日の胆振東部地震で清田中央地区内においても多くの建物被害が発生しました。清田団地元町町内会の会館である清武館の建物も、地盤のズレや陥没により建物全体がねじれ状態となって使用不能となってしまいました。

清田団地元町町内会としては少しでも早く正常な使用状態に戻すために、市からの助成とアドバイスを受けながら大規模改修工事実施を決断、地震発生の1年後に当たる令和元年9月13日に無事工事が終了しました。そして安全・安心で使い勝手の良い町内会館に生まれ変わりました。

清武館の誕生と歴史を知る者にとっては、伝統のある清武館の看板が再び掲げられ今後とも利用されていくことに喜びを感じていると思います。



清武館外観



清武館内装

各町内会館紹介



清田中央総合会館



清田中央会館



清田南中央会館



清田緑町内会館



清田南町会館



清田高台町内会館



清田第五町内会館



清田西町会館



しんえい西自治会館



清田メイユール喜寿自治会館



ファミリータウン会館

各部の活動紹介(8部)

福祉厚生部

部長

本間慎一

(平成25年～)

歴代部長

山越幸民(平成 2年～)

加賀谷正光(平成 3年～)

山越幸民(平成 8年～)

鹿森 品(平成14年～)

鈴木 亨(平成20年～)

工藤辰男(平成23年～)



文化展示会

高齢化等に伴う認知症対策と文化展示会開催

急速に高齢化が進展している昨今に於いて、65歳以上の10人に1人が認知症と推計されています。そのことを踏まえ町連の福祉厚生部活動としては、関連機関と連携しながら、認知症の基礎を学ぶ研修会を開催し、身近に起こり得る様々な事例を学ぶことにより、認知症に対する関心が高まると同時に、知る機会、学ぶ機会の必要性を感じながら取り組んでいます。

文化展示会については毎年地域住民が作成した各分野の文化作品を持ち寄り、展示会を盛り上げると共に、地域住民相互の親睦を深めて、文化活動を通じた「地域のまちづくり」を進めることを目的として開催しています。



環境衛生部

部長

新吾小一

(平成27年～)

歴代部長

水谷愼一(平成 2年～)

岩瀬義一(平成 4年～)

飯間 昇(平成 6年～)

菅野常明(平成 7年～)

山田幸四郎(平成12年～)

山田賢二(平成22年～)



ごみゼロ運動

環境衛生事業の推進

環境衛生部は各町内会から選出された環境衛生部長により構成され、クリーンさっぽろ衛生推進員も兼務しており、これまで環境美化に取り組んで来ました。

主な事業として、毎年5月30日に【530(ごみゼロ)運動、街をきれいに！クリーン大作戦】を、町連・子ども会・各老人クラブ・児童会館と連携して地域のゴミ拾いなどを行っています。各部長さんにつきましては、区のクリーンさっぽろ衛生推進協議会開催の清掃関連施設見学会の参加、また区民まつりの清掃活動、町連の夏まつりにおけるごみ選別などの参加を頂いております。

当町連の環境衛生部長さんの中で、長年の環境美化の功績により、札幌市長表彰者3名、クリーンさっぽろ推進協議会会長表彰者3名が受賞されています。町連会長及び各町内会会長はじめ各部員の協力を頂いた結果と思われまます。

各家庭におきましては、ガスボンベの回収モデル地区に指定の際には協力を頂き無事に終えることができました。

環境衛生部としましては、今後とも街の美化に各部長さんと共に努力してまいります。



区民まつり清掃活動



防災防犯部

部長

一関 庶路

(平成24年～)

歴代部長

雨宮 稔(平成2年～)



防災訓練



地域住民を災害と犯罪から守る

防災防犯部は、「地域住民を災害と犯罪から守る。」という課題を解決するために創設された部署です。「防災の領域」は、地震、台風、竜巻、大雨等の自然災害で、「防犯の領域」では、痴漢、わいせつ者、盗難、子供の連れ去り、行方不明者捜索等の人為的犯罪を対象として、その予防準備と対策を考えています。時には、交通事故や火災から守るために、同じ組織内の「交通安全対策部」や、組織外の「札幌市清田区防火委員会」と協力して課題解決に取り組んでいます。更に、児童・生徒の登下校の「交通安全」とともに「車への引きこみ、わいせつ者、緊急時の集団下校等」の予防準備と対策を考える仕事も付随します。

特に、最近では防災について、全国的に「巨大地震災害」、「大雨による河川決壊と地すべり災害」等が多発していることから、「札幌市災害対策本部」や「清田区災害対策本部」と連携して対処することが多くなっています。

以下実践した「訓練」や「講習会」、「警備」を紹介しします。「避難所開設講習会、AED講習会（資格取得3時間講習）、トランシーバー使用訓練、発電機・灯光器使用訓練、避難所宿泊訓練、青色防犯パトロール、110番の家避難訓練、清田区防災訓練参加」等。



交通安全対策部

部長

赤坂 稔

(平成14年～)

歴代部長

加藤 猛(平成2年～)



交通安全運動を推進

交通安全対策部では、交通事故防止活動として、主に街頭啓発を行っています。各期の交通安全運動の実践活動では、町連交通安全対策部員・交通指導員・他各関係者の協力を得て活動を進めて参りました。

交通少年団は、交通安全意識を深めるため、交通安全運動の各種の実施活動に参加しています。

最近では高齢者の交通事故が増加しており、とても残念に思っています。

交通安全対策部では今後も地域住民の皆さんと共に交通安全運動を推進し、町内会連合会の30周年を迎えて、対策部員一同また新たな気持ちで交通安全に努力してまいります。



交通安全運動街頭啓発



青少年育成部

部長

齊藤正敏

(平成29年～)

歴代部長

岩瀬義一(平成 2年～)

溝口國高(平成 3年～)

加賀谷正光(平成 8年～)

竹内博美(平成14年～)

山下紀雄(平成26年～)

谷崎和幸(平成27年～)



子ども会合同ラジオ体操

事故を未然に防ぐ地域づくり

青少年育成部は、子どもたちの健全育成を目的とし、子どもたちが安心して暮らせる事が出来る地域づくりを目指す専門部です。

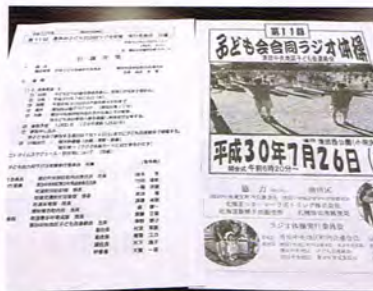
大きな事業としては、子ども会合同ラジオ体操、子ども会合同もちつき大会などがあります。

啓発活動としては、青少年育成部、青少年育成委員会、民生児童委員会、四校連で連携を取り合いながら町連夏まつりのパトロール、夏休み中の夜間パトロール、子どもたちの通学・下校時の見守り活動、あしりべつ神社祭典安全パトロールを実施しています。

青少年育成部はこれからも子どもたちの事故を未然に防ぐ地域づくりの活動を行って参ります。



子ども会合同もちつき大会



女性部

部長

東海林三恵子

(平成24年～)

歴代部長

森美代子(平成 2年～)

見上佳子(平成17年～)



干支の亥壁掛け作り



迎春生け花アレンジ講習会

地域に寄り添う活動を

女性部では福祉事業、教養、交通安全など家庭の身近な事に取り組んできました。福祉事業としては「一円玉募金運動」を地域の皆様のご協力を得て行い、区内の福祉施設に贈呈しています。近年災害が多く、何かと大変な中での運動は各施設から大変喜ばれています。

交通安全母の会としては毎年新1年生に給食ナプキンを皆で手作りし、交通安全のキーホルダー、ティッシュと3点セットにして清田南小学校、清田緑小学校の新一年生のお祝いに行っています。また、新一年生登校時の街頭啓発と春・夏・秋・冬の街頭啓発を交通安全対策部と共に協力し合い実施しています。

教養講座は年3回開催しています。

- ・9月…作品をつくり町連主催の文化展示会に出品しています(おし花、壁かざり、陶芸、ハーバリウムなど)
- ・12月…お正月用アレンジフラワー講習会
- ・2月…手芸教室(その年の干支)

今後も女性部の活動を充実させて行きたいと思っております。皆様の一層のご協力をお願いいたします。



交通安全母の会「給食ナプキン」贈呈



交通安全母の会 街頭啓発

体育部

部長

渡邊貞俊

(平成16年～)

歴代部長

山田 修(平成 2年～)

山下紀雄(平成11年～)



パークゴルフ大会



ミニパークゴルフ大会



歩く運動～白旗山

地域の社会体育行事を推進

地域の方々の健康と体力増進、そしてレクリエーション行事等により親睦を図る事を目的とし、各単町の体育部長のご協力のもと色々な行事を行っています。

初夏6月には120名の選手がスコアーを競う「春季パークゴルフ大会」。7月には緑小学校を出発し、4歳から80歳くらいの方々が白旗山を目指して約10kmを歩く「歩く運動」を開催し、終点のふれあいの森では体育部員達が用意した飲物や焼肉で親睦を深めています。夏には「成人野球大会」(平成26年に中止)。「清田区地区対抗壮年野球大会(40歳以上)」では数多くの優勝を果たしています。

平成29年には「正しいラジオ体操講座」を清田中央公園ラジオ体操会の協力で多くの皆様の参加の下行いました。秋には「秋季パークゴルフ大会」を爽やかな秋空の下、和気あいあいと行っています。冬には平成28年から子ども達が主体で5人でチームを組み、学年に応じた距離からボールを打ちゴールに入った点数の合計を競う「ミニパークゴルフ大会」を南小学校体育館で開催しています。

体育部は今後とも年齢を問わず、生涯にわたる健康維持と体力増強のための行事を行ってまいりますので、一人でも多くの方が参加していただくようよろしくお願いいたします。

地域情報部

部長

田利 守

(令和元年～)

歴代部長

鈴木 亨(平成15年～)

古賀陽一(平成20年～)



地域情報誌を身近に

地域情報部は「町連だより」の発行とホームページの管理を業務としてきましたが、ホームページが区のITボランティアに移行したことにより、現在は「町連だより」の編集に力を注ぐことになりました。昨年度までの発行は、64号を数えています。

初期には年2回の発行でしたが、後に年3回となり、地域情報誌として、地域をうるおす大切な役割を果たしてきました。誌面の構成は、町連(含専門部)、単町、老人クラブ、子ども会、福祉のまち推進センター、学校、児童会館などからあげてもらった記事でできあがっています。各単町から出る編集委員は、原稿の依頼・収集にはじまり、あれこれ話しながら誌面の割り付けをし、校正して仕上げます。文字通り手作りの地域情報誌です。

これまで多くの団体、個人の皆様からたくさんの情報をいただきました。ここに改めてお礼申し上げる次第です。また、あずかった原稿は、すべて誌面に反映するように極力努力しておりますので、小さな事柄でも気軽に情報をお寄せくださいますようお願いいたします。

編集委員一同、より身近な地域情報誌の提供に心をくたく所存です。